

## 医師人事異動のお知らせ

昨年12月～4月の間で下記のとおり医師の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

### 内科

入職：大林 倫子、池永 寛子、河野 光泰  
退職：松本 佐知子、松浦 知香、柿原 茉耶  
伊藤 あるか

### 整形外科

入職：藤井 嵩、植田 花  
退職：江川 卓弥、鳥飼 大剛、木下 拓也

### 循環器内科

入職：寺柿 政和（副院長）、高木 康浩（医長）、鄒 仁峰、細見 興太  
退職：川上 りか、松久 英雄

### 外科

入職：木下 正彦、松田 由美  
退職：森村 圭一朗、酒部 克、慶元 正洋

### 救急・総合診療センター

入職：福本 一夫  
退職：八木 匠

### 形成外科

入職：安形 省吾  
退職：澤村 尚

## 地域医療連携センターより 地域医療連携センター副センター長・看護部長 井内 郁代

地域医療連携センターが稼働して1年になります。

地域の医療・福祉との連携で「顔の見える関係をもっと」「当院にできることはないか」を模索してきた一年でした。新年度に向けて3月には新規アンギオ装置が導入され、循環器疾患に対してより質の高い検査・治療が可能になり、4月から待望の脊椎外科の診察（火曜日午後、地域連携室にて予約）が開始になりました。また地域医療連携センターでは皆様にお世話になりました杉山課長が定年退職となり、松葉係長が後任として森本リハビリ病院から、新規MSWとして谷・高橋の2名が加わり2025年に向け、地域の中で包括ケアシステム構築の一端を担えるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



## 編集後記

広報室 M

先日、暖かくなってまいりましたので山登りなど行ったのです。早朝は暖かかったのですが、夕暮れになると温度が下がります。そこで麓のカフェに入り休憩してましたらレトロなストーブを発見しました。近くににゃんこもいたので携帯カメラでベストショットを狙ったらちゃんとポーズをとってくれました!!「寒いから動かなかっただけの話」と友人から突っ込まれましたが、可愛らしいにゃんこでした(笑)



## 東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ  
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス：m\_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260

【受付時間】 平日 9:00～20:00

土曜日 9:00～17:00

地域医療連携センター長 辻口 幸之助

副センター長 井内 郁代

\*東住吉森本病院のホームページでも情報が日々更新されております。 <http://www.tachibana-med.or.jp>

<臨時号>

# morimoto report Vol.21

2016・April

医療法人橘会 東住吉森本病院 地域医療連携センターだより

発行者：田中宏 / 事務局：地域医療連携センター・広報室

<http://www.tachibana-med.or.jp/> 〒549-0014 大阪府東住吉区西成3丁目2番66 TEL:06-6605-0010 FAX:06-6605-0055

## 【院長挨拶】

新緑の美しい季節になりました。皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、当院では新年度を迎え、寺柿政和副院長の赴任など、大幅な人事異動がございました。整形外科では待望の脊椎外科も開始されます。これからも地域の皆様のご期待に応えられるよう職員一同頑張っておりますので、何卒よろしくご支援をお願い申し上げます。

院長 田中 宏

## 【新副院長就任挨拶】 副院長 寺柿 政和

4月1日から副院長として着任しました循環器内科の寺柿政和と申します。私は1980年に大阪市大を卒業後第一内科（循環器内科）で臨床に従事し、2002年から東大阪市の若草第一病院、2008年から大阪市西区の大野記念病院で診療を行ってまいりましたが、2016年4月から東住吉森本病院に入職させて頂くこととなりました。この間に医療を取り巻く状況は急速に変わり、日本はいまや未曾有の超高齢化社会を迎え、循環器の分野でも大動脈弁狭窄症・僧房弁逆流症などの弁膜症や胸腹部大動脈の瘤・解離、閉塞性動脈硬化症による末梢動脈の狭窄・閉塞、肺塞栓症・深部静脈血栓症などの静脈血栓塞栓症、心房細動などの不整脈などが大きな治療ターゲットになりつつあります。



幸い当院ではアンギオ装置のリニューアルにより、狭心症・心筋梗塞症など虚血性心疾患はもとより、心血管疾患全般の診療に威力を発揮するものと考えています。さらに高齢化とともに心不全を合併する患者さんが増加しており、診療科の枠を超えて各科との連携がますます重要になっています。

ところで華僑の人々の間には、「落地生根」という諺があると聞きます。私なりに解釈をしますと、「植物の種は風に乗って遠くに運ばれ、落ちた所で芽を出し根を生やして生きていく。離れた土地に定着して根を下ろす」というほどの意味かと思えます。これは、「人は与えられた所で力を発揮せよ」という先人の教えではないかと考えます。このたび縁あって当院に着任し、院内はもとより地域の皆様方と一緒に手を携えて、患者さんの診療に従事していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 新規アンギオ装置の導入完了しました

循環器内科 部長 坂上 祐司

前回号でご案内させていただきましたアンギオ装置の導入が完了いたしました。3月23日より稼働しておりまして機械トラブルなども無く順調なスタートとなりました。



さて、その新しいアンギオ装置は、島津社製のパイプレン（2方向同時撮影可能）装置で画質も良く被曝線量も大幅に低減されています。高齢化社会で腎機能低下症例が増加傾向ですが、画質の良さに加え、2方向同時撮影することで造影剤量をほぼ半減できるため、腎臓にやさしい検査と治療が可能になりました。また、心臓だけではなく末梢血管治療も膝下の血管まできれいに観察でき診断治療に大きく役立つ装置と言えます。

さらに、不整脈のアブレーション治療なども2方向撮影で手技時間短縮も可能になってまいりました。より質の高い検査と治療をお届けする要件を備えた新装置で、さらに地域医療に貢献してゆきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 整形外科・脊椎外科を始めます

整形外科 部長 寺浦 英俊

2016年度の整形外科は7名の常勤医で診療にあたります。そのうち日本整形外科学会専門医が4名、日本手外科学会専門医が2名在籍しており、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本手外科学会基幹研修施設に認定されております。2014年度の手術件数は1023例、内訳は上肢疾患342例、下肢疾患282例、人工関節・骨頭置換術260例、その他139例でした。2015年度の学術活動は国内学会12演題、国際学会3演題と外部への発信も行っています。

脊椎疾患の診察に関しては、今まではご要望に満身に答えられませんでした。脊椎専門外来を4月から開設いたしました（火曜日14～16時）。大阪市大整形・脊椎グループから派遣された脊椎専門医（日本脊椎脊髄病学会指導医）が診察にあたります。地域の先生方ならびに各施設の関係者の方々には脊椎疾患患者様をご紹介いただければ幸いです。

## 外来診察医担当表

		月	火	水	木	金	土		
午	内科	初診	森井 麻記子	*江原 省一	*井口 紀子	寺柿 政和	福本 一夫	池永 寛子	
		内科一診	高塚 正樹	松山 宗樹	森川 貴子	仲川 浩一郎	藪さこ 恒夫	奥田 博朗	
		二診	西野 真由子	上田 美和	藪さこ 恒夫	大林 倫子	岡井 香生里	河野 光泰	
		循環器一診	坂上 祐司	西矢 大輔	畠田 洋平	宮崎 知奈美	*田村 聡一郎	担当医	
		二診	—	高木 康浩	寺柿 政和	—	不整脈外来 前田 恵子	—	
			宮城 邦栄	—	—	宮城 邦栄	—	—	
	呼吸器内科	—	伴 裕雅	*浅井 一久	*田中 繁宏	伴 裕雅	—		
	前	外科	一診	西澤 聡	田中 宏	清田 誠志	廣橋 一裕	木下 正彦	金沢 源一
			二診	—	—	消化器外科 金沢 源一	—	—	—
			呼吸器外科	—	—	花田 庄司	—	—	*岩田 隆
整形		初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		再診	—	藤井 嵩	—	大はた 武夫	—	住友 暁	
	再診	—	増田 翔	—	—	—	*スポーツ整形		
	手外科	寺浦 英俊	—	—	—	池田 幹則	—		
	リウマチ	—	—	—	—	—	*担当医		
形成	一診	辻口 幸之助	辻口 幸之助	辻口 幸之助	安形 省吾	辻口 幸之助	安形 省吾		
脳外	一診	*川端 信司	磯野 直史	*加茂 正嗣	—	*久保田とも	—		
午後	専門外来	呼吸器内科 武田 倫子	—	—	神経内科 *今井 輝國	—	神経内科 *小坂 理		
		糖尿病内科 *上田 修子	ペーパークー外来 前田 恵子	フット外来 坂上 祐司	肝臓・栄養 *羽生 大記	心臓血管外科 *柴田 利彦	—		
		緩和ケア 藪さこ 恒夫	脊椎 *山田 賢太郎	肝胆膵外科 緩和ケア 田中 宏	肝臓 藪さこ 恒夫	肝胆膵外科 清田 誠志	肝臓(治療) 藪さこ 恒夫		

※心臓血管外科は第2・4週のみとなります。

\*非常勤医

平成28年4月16日 医局